



神奈川畜産情報

発行所
 神奈川県畜産会
 横浜市磯子区西町14-3
 畜産センター内
 電話 045(761)4191
 FAX 045(759)1162
 発行人
 志村善一

神奈川県畜産会のホームページ
 「かながわ畜産ひろば」(http://kanagawa.lin.gr.jp/index.htm)

隔月(1日)発行
 [神奈川畜産情報(平成18年1月号以降)はホームページでもご覧になれます]

定価1部10円(1年100円)
 会員の購読料は会費を含む

(一社) 神奈川県畜産会 第五十九回定時総会開催される

第五十九回の県畜産会定時総会が六月十九日(水)、畜産センター会議室で多数の会員並びに来賓の御出席をいただき開催されました。

平成二十四年度の事業報告及び収支決算、平成二十五年度会費案及び役員補選等の議案が提出され、慎重に審議された結果、提出議案全てが承認されました。また、報告事項として平成二十五年度の事業計画及び収支予算が報告されました。

●平成二十四年度収支決算

平成二十四年度は、職員一同効率的な事業執行に努めてまいりましたが、中央畜産会事業が縮小された影響を受け、前年度に引き続き厳しい収支となりました。引き続き、人件費、管理費のコスト削減等、一層効率的な運営に努めてまいります。

●平成二十五年度事業方針

引き続き経済不況の中で、PPP問題や、畜産物需要の停滞、価格の低迷など、わが国畜産は大きな波にもまれ続けています。加えて、原発事故の影響で牛肉風評被害など、畜産農家はかつてない厳しい経営環境下にあります。家畜衛生関係では、近隣の中国、韓国、台湾では、口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザとも発生が継続しており、引き続き防疫対策、侵入防止対策の徹底を図る必要があります。

このような畜産を取り巻く環境は、厳しさを増すばかりですが、本会としては、公募化された各種事業に幅広く取り組み、効率的、効果的に実施してまいります。また、行政機関はもとより、関係団体等と協調・連携を一層強化し、当会の経営の更なる合理化を図りながら、国や県の畜産行政を補完するための体制の強化を図っていきたく考えております。

●平成二十五年度収支予算

平成二十五年度は、経常収益

計七千七百十万余円、経常費用七千二百二十万余円で、正味財産減が百余万円の予算となっておりますが、四月以降に、中央畜産会の新規事業が確定しており、百三十余万円の収入増(人件費分)となるため、正味財産減は縮小されるものと考えています。

●役員補選について

今回は監事の鈴木様の退任と後任の根本様の就任について役員補選がありました。六月十九日現在の役員体制は次のとおりです。

- 会長 志村善一(農協中央会)
- 副会長 堀江則之(学識経験者)
- 副会長 志澤 勝(畜産振興会)
- 専務 丹波義彰(畜産会)
- 常務 倉迫 豊(畜産会)

(理事)

- 竹内 仁(全農県本部)
- 前 薫(県酪連)
- 角田克己(養鶏連)
- 鳥海 弘(神奈川県獣医師会)
- 横山 清(養豚協会)
- 石川久義(横浜農協)
- 柴原 裕(セリサ川崎農協)
- 三ツ堀清己(よこすか葉山農協)
- 長嶋喜満(さがみ農協)
- 宮崎一美(湘南農協)
- 山田信昭(伊勢原市農協)
- 古谷茂男(秦野市農協)
- 吉田光男(かながわ西湘農協)
- 篠崎健一(相模原市農協)
- 山口耕一(津久井郡農協)

(監事)

- 根本芳明(全農県本部)
- 猪俣誠造(かながわ酪農協)
- 彦坂 誠(神奈川県中央養鶏)

議案審議が終了後、来賓を代表し、篠原県環境農政局農政部長、佐藤中央畜産会事業第二統括部資金・経営対策部長に御祝辞をいただいた後、志澤勝副会長の閉会の辞で盛会裏のうちに総会の全てを終了しました。(総務部)

(一社) 神奈川県養豚協会 通常総会開催される

平成二十五年六月十四日、さがみ農協海老名支店会議室にて、一

般社団法人神奈川県養豚協会に移行して初めての平成二十五年度通常総会が開催されました。

総会は横山理事長のあいさつで、養豚農家が長らく望んできた「仮称 養豚振興法」の制定に向けた運動が自民党の政策に取り上げられ準備が進められていること等の報告があり、続いて議案の審議に入り、提案議案はすべて原案のとおり承認されました。

平成二十四年度の収支報告では、春からの低豚価の影響で厳しい収入状況であった上、飼料価格が高騰し、厳しい経営状況でありましたが、予想以上に夏場出荷の肉豚が多く何とか収支バランスの取れた決算内容となった。

総会に続き来賓の挨拶があり石田聡畜産課長から、養豚振興施策の継続と地産地消・ブランド推進など出口作戦の強化を図る等の方針が語られました。

続いて県養豚協会の顧問であり、日本養豚協会(JPPA)の会長である志澤勝氏より、日本養豚協会の活動の成果と自民党国會議員による養豚政治連盟の運動について話され、昨年から成果として、飼料価格安定基金強化の国會議員団への要請や昨年の低豚価を受けて、肉豚経営安定基金が第三四半期には枯渇する事が予測されたことから、生産者の要請により、176億円の補正予算が組まれ、生産者の追加負担を伴ったが、満額補てんが出来、セーフティネットの機能が実現した等報告されました。(神奈川県養豚協会 梅本)

平成二十五年一度一般社団法人 神奈川県畜産振興会 「畜産振興助成事業」決定

平成二十五年五月三十日畜産センターにて、畜産振興会の第四十九回通常総会が開催され、畜産振興助成事業予算が承認されました。

畜産振興会では、毎年県内の畜産振興を目的に助成事業を実施していますが、本年度は十一団体の

十六事業に総額四百四十二万円の助成を決定しました。

また、併せて畜産フェスティバル関連予算(三〇〇万)も承認され、今年は、十月二十七日(日)に家畜に親しむついで、十一月二日(土)に大野山フェスティバル、十一月一日(日)にかながわワトントンまつりの開催も決定しました。

畜産振興会としては、これら事業を積極的に実施し、本県の畜産振興に寄与していきたいと考えています。(畜産振興会 小島)



かながわの畜産に携わる 女性ネットワーク会員募集

平成十八年十一月十九日に設立された女性ネットワークでは、広く県内の畜産に携わる女性の会員を募集しています。

会では、①情報交換・情報の提供、②技術・経営研修会、③優良事例・関係団体等の視察、④行政・関係団体等との意見交換会等を年間の行事として実施しております。

これらの活動を通して個々の資



魔性の女に阿呆な男 情け知らずに恥じ知らず

家庭内では女房にさえ理解されないことを旦那が外に出て皆に勤めている。儲け仕事の明るさをちらつかせて「どさくさ」まぎれ、心配事を「うやむやに」賠償責任はまあまあと「なし崩しに」して事を進める上手さは一丁も二丁も

だよ。自分のウチには危なくて置けねー品物を余所に行つて「作つてやるから買ってこれ。絶対安全、壊れやしないよ。ウチじゃちよつと失敗したけど、その経験を活かすから安心さ。オメーのここはオレッチのような活断層なんてねーだろう。津波もこねーだろ。」なんて言つて売っちゃった

のかな?ウチの原発セイルスマンは腕がいいね。少なくとも安愚楽は牧場の三ヶ尻社長・久美子より腕は上々だよ。安愚楽も当初は都会

質の向上を図り、経営の安定化に繋げ、神奈川の畜産をより立てていくこととしています。

会費は、年間五千円とし、家族で加入された場合でも一家族五千円としていきます。

都市畜産の安定経営の維持・振興には、女性のきめ細かい視点での経営が今以上に重要になってきています。多くの皆さんの参加をお待ちしています。(総務部)

新マルキン事業

「三月及び四月販売牛の補填金単価報告」

- ◎第1業務対象年間第4四半期三
 月販売牛補填金単価 〇円
- 肉専用種 四五、八〇〇円
- 交雑種 六五、六〇〇円
- 乳用種 六五、六〇〇円

★補てん金交付日
 平成二十五年五月二十三日

- ◎第2業務対象年間第1四半期四
 月販売牛補填金単価 〇円
- 肉専用種 〇円
- 交雑種 三八、七〇〇円
- 乳用種 〇円



★補てん金交付日
 平成二十五年六月二十八日

第2業務対象年間開始当初のため積立金不足により補填金交付ができない場合があります。

本県の場合、乳用種について四月の積立金がゼロ円のため、補填金概算単価がゼロ円となりました。第1四半期の四月、五月、六月の三か月分の積立金額から充足率を算定し、割って交付いたします。充足率が一〇〇%に満たない場合は減額交付となります。(経営指導部 倉迫)

新むらさずめ

神奈川の畜産にも風評被害をもたらし、未だ損害賠償に応じない東電はこの大旦那の動きをどのように見ているのでしょうか?家を離れて大旦那が羽を伸ばしている間に留守役の女性の政調会

長は「原発事故によって死亡者は出ていないから、お金のために原発を稼働させよう」と発言。福島県の被災者や関係者は激怒。放射線被曝により見放された家畜の死亡数は?福島第一原発に近い双葉病院(大熊町)では事故後に入院患者が取り残されて避難が遅れ、三月中に患者四〇人が亡くなられたとのこと。牛乳を廃棄されて収入を断たれた酪農家の自死。有機栽培のキャベツ75000株の収穫前に原発事故に会い、自死を選んできた農家の事々々を政調会長だつて知らない訳がない。家族が離ればなれに暮らしている被災者、生活手段を奪われた方々の心の痛みが至らない女の鈍感さ、多勢の社員の良心を退けた女の非情さ。この二人は魔性の女である。そして身内の女の情けに耳を傾けない男は恥も法も知らない阿呆に違いない。(忠九朗)

地方競馬の収益金は畜産振興に役立っています。

川崎競馬開催日

25年 7月 22日(月)～ 26日(金)
 8月 19日(月)～ 23日(金) ナイター開催
 9月 2日(月)～ 6日(金)

研究情報

畜産経営の「消費電力の可視化」について

はじめに

畜産経営では作業省力化のために様々な機械が導入されており、電力は欠かせないものとなっています。東日本大震災以降、電力供給が不安定な時期を経験し、電力需要期には電力のピークシフトやピークカットなどの節電に対する取り組みが行われてきました。

そこで畜産経営においても経営内の「消費電力の可視化」を行い電力消費の効率化を図れるかについて検討しました。

消費電力の可視化って？

電気を使用する場合、電力会社との契約方法は主に電灯と動力の2種類があります。電灯の中には、照明用電気機器のほか、テレビ、冷蔵庫などの小型機器が含まれます。動力は、「電灯」及び「小型機器」を除く、モーター等が含まれます。

例えば、給餌機やバンクリナーなどのモーターが動力に該当します。畜産経営内で消費する電力量は、電灯より動力が圧倒的に大きいので、動力による電力量を減らすことが電気節約のポイントとなります。

「畜舎内の作業別」の機械をどの位の時間使っているのか？」を調査すると経営内の推計消費電力量や電力消費の傾向が把握できます。これが、「消費電力の可視化」です。

畜産経営内の「消費電力の可視化」
当所が県内で搾乳牛36頭、育成牛14頭を飼養する酪農場で実施した「消費電力の可視化」の事例を紹介いたします。なお、この調査事例では、ふん尿処理施設は敷地外にあるため、本調査の対象外としました。

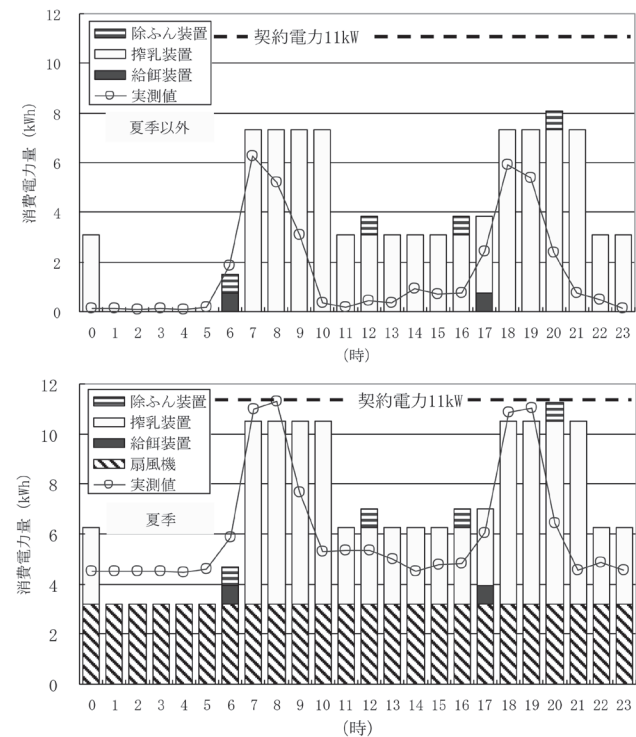
作業の洗い出し

「畜舎内の作業別」の機械をどの位の時間使っているのか？」作業内容や使用機械を洗い出すことから始めます。牛舎内の全ての

表1 電力量調査表の記入例

①機械区分	②機械名	③電源の種類		④電圧容量 (kV)	⑤台数 (台)	消費電力量 (kWh)		⑥稼働スケジュール					合計 (kWh)	
		何相	ボルト数			0	1	4	5	6	7	8		
給餌装置	TMRミキサー	三相	200	0.75	1	0.75								0.50
換気通風装置	送風機	三相	200	0.4	8	3.2	3.20	3.20						46.08
除ふん装置	バンクリナー	三相	200	1.5	1	1.5								3.00
搾乳装置	真空ポンプ	三相	200	3.7	1	3.7								29.60
	冷却器	三相	200	3	1	3	3.00							54.00
	真空ポンプ	三相	200	0.55	1	0.55								4.40
	バルク攪拌機	三相	200	0.07	1	0.07	0.07							1.26
井水ポンプ	水中ポンプ	三相	200	0.75	2	1.5								6.27
合計						14.27	6.27	3.20	3.20	4.20	10.52	10.52		154.20

図1 牛舎内の飼養管理に伴う推計及び実測消費電力量 (夏季及び夏季以外)



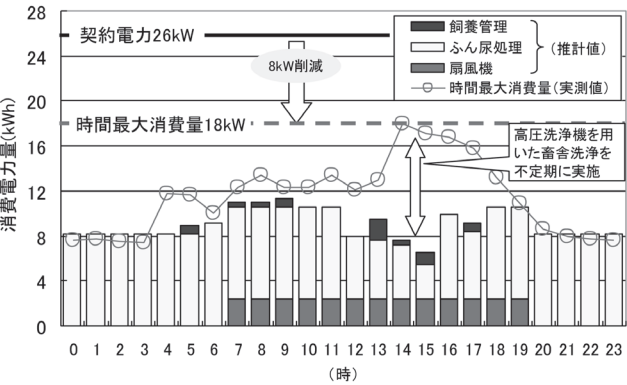
「消費電力の可視化」によって得られた推計値の精度を検証するため、電力監視システム計測器(株)戸上電機製作所社製の電源電力アナライザー・型式MEP1B)により、牛舎内の消費電力量を平成23年8月から12月までの5ヶ月間実測しました(図の折れ線グラフ)。

「消費電力の可視化」によって得られた推計値と実測値とに一部で差が見られるものの、可視化により得た推計データは農場での消費電力の傾向を表しており、経営内の各作業に伴う消費電力の傾向を示すのに十分な精度を持つデータであることが明らかになりました。

図2 電気料金の計算式 (東京電力(株)のHPより抜粋)



図3 豚舎及びふん尿処理施設での消費電力量の予測と実測値 (夏季)



「消費電力の可視化」により、稼働時間帯及び稼働時間を調べ、稼働スケジュールの枠に算出した一時間あたりの消費電力量を記入します。これで洗い出し作業が終了です。

最後に、理解しやすいようにグラフ化して可視化が完成です。「可視化」で見えたもの
可視化により、搾乳時間帯と

搾乳時間帯の実測消費電力量は、搾乳開始直後が大きくなり、その後減少していく傾向が確認されました。この原因として搾乳開始直後は、生乳の冷却のため消費電力量が多く必要となり、冷却が進むにつれ機械への負荷が低下し、消費電力量が減少するものと推察されました。

夏季以外の場合、推計消費電力量(棒グラフ)は、実測した消費電力量(折れ線グラフ)より高くなる傾向が確認されました。これは、外気温が低いためバルククーラーで生乳を冷却させるのに必要な電力量が少なくなるのが理由として推察されました。

「消費電力の可視化」により、作業別の消費電力量が把握できるほか、日常作業を効率化したり無駄な電気代を削減できる可能性があります。これは、電気を使う場所であれば適用できるので、経営の「消費電力の可視化」に取り組んで下さい。

最後に「消費電力の可視化」が、電気と上手なお付き合いをするきっかけとなり、電気代削減のヒントになれば幸いです。(神奈川県農業技術センター畜産技術所 主任研究員 川村英輔)

家保だより

今年も早いもので半年が過ぎ、梅雨に入り、暑い季節になってきました。この暑さとじめじめした気候では人間も動物もバテてしまっていますね。

暑熱対策について

この季節になると話題によくあがるようになるのが夏場の暑熱対策です。暑くなると採食量の低下から増体量の低下や乳量の低下、繁殖成績が低下するだけでなく、抵抗力が低下し病気にもかかりやすくなるなど、色々な被害が出てきます。

大野山たより

近年、異常気象が多く発生し、

平成二十二年、二十三年、二十四年度の台風・大雨により放牧地等の一部に崩壊が起きてしまいました。出来る限り自分達で修復したり、危険箇所を有刺鉄線で囲ったりと対応して管理してはいますが、いくつ自家施工による修復ができない場所があります。地元林業関係者やハイカー等が安心して通行出来るように、県財政が厳しい中、修復予算を獲得していただきました。出来るだけ早く修復できるようにがんばっています。牧場環境は依然と変わっているわけではなく、このように流出しやすい火山噴出物であるスコリアといわれる物が大野山周辺には堆積しています。大雨等による崩壊が今後も起こることが考えられますが、出来る限り水みちの変更や側溝のこまめな清掃を心がける所存です。今年も、台風・大雨等による被災が無い様に、又草の生育にとって異常気象とならないよう願っています。

大野山乳牛育成牧場長 原田

さて、六月には、一番草(オーチャードグラス・ペレニアルライグラス主体)をラップサイレージにして詰めました。残念なことには、近年で多かった平成二十二年に比較して、約六割弱となつてしまいました。これは春先に低温が続いた影響と思われるのですが、もう一つ大きな要因に鹿による被害が挙げられます。牧場職員が今年になって確認した最も多い頭数は一〇〇頭を超えており、これが大野山周辺に生息していると思われまふ。今回は、今度も状況を把握し、夜に鹿の状況を確認したところ、やはり草地のあちこちに鹿が来ており、短いながら少し伸びた牧草をもう食べました。丹沢等でのこの鹿による被害が問題となっているように、山林の下草も食べられ保水力が低下し、災害の発生につながるかねないとの記事を読みました。柵を張り廻らせることや、猟銃や罠で捕獲する地道な対応も必要ですが、低コストで出来る何か素晴らしい方法を参考にしたいと真に願うところです。

湘南畜産保健衛生所 細字

皆さんの畜舎でもすでに様々な工夫がなされていることと思いますが、今一度畜舎環境や飼養管理を見直していただきたいと思います。また家畜の状態も注意深く観察し、異常が見られた時には早めにご相談下さい。

大野山たより

近年、異常気象が多く発生し、

大野山たより

近年、異常気象が多く発生し、

大野山たより

近年、異常気象が多く発生し、

大野山たより

近年、異常気象が多く発生し、

大野山たより

近年、異常気象が多く発生し、

大野山たより

近年、異常気象が多く発生し、

大野山たより

近年、異常気象が多く発生し、

大野山たより

近年、異常気象が多く発生し、

大野山たより

近年、異常気象が多く発生し、

大野山たより

近年、異常気象が多く発生し、

大野山たより

近年、異常気象が多く発生し、

大野山たより

近年、異常気象が多く発生し、

大野山たより

近年、異常気象が多く発生し、

大野山たより

近年、異常気象が多く発生し、

大野山たより

近年、異常気象が多く発生し、

大野山たより

近年、異常気象が多く発生し、

大野山たより

近年、異常気象が多く発生し、

大野山たより

近年、異常気象が多く発生し、

大野山たより

近年、異常気象が多く発生し、

大野山たより

近年、異常気象が多く発生し、

大野山たより

近年、異常気象が多く発生し、

大野山たより

近年、異常気象が多く発生し、

大野山たより

近年、異常気象が多く発生し、

大野山たより

近年、異常気象が多く発生し、